



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月10日

上場会社名 ディーブイエックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 宮本 聡 TEL 03-5985-6832  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,486	△9.0	590	△25.0	588	△25.9	398	△27.1
2020年3月期第3四半期	33,505	11.7	786	5.2	794	4.5	547	△5.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	38.77	38.72
2020年3月期第3四半期	51.90	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,590	7,746	37.6
2020年3月期	20,367	7,566	37.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,736百万円 2020年3月期 7,561百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,159	△7.8	774	△30.6	773	△31.2	519	△34.4	50.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3 Q	11,280,000株	2020年3月期	11,280,000株
2021年3月期3 Q	977,344株	2020年3月期	1,002,644株
2021年3月期3 Q	10,291,524株	2020年3月期3 Q	10,549,379株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いておりますが、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しの動きが続くことが期待されておりましたが、昨年末から感染者数が急増し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療機器業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大きな影響を及ぼし、外出自粛要請に伴い患者の医療機関への来院数が減少したこと、医療機関が待機的な治療など緊急性が低い治療について可能な限り延期したことなどから、症例数が減少しました。2020年6月以降、症例数は回復傾向にありましたが、昨年末から感染者数急増の影響により再び減少傾向となっており、依然として先行き不透明で見通しが難しい状況が続いております。

このような情勢のもと、当社では、社員の感染リスクを軽減するためのあらゆる対策を講じ、医療の安全、安心のために安定して商品を提供し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は30,486,515千円(前年同期比9.0%減)、営業利益は590,214千円(前年同期比25.0%減)、経常利益は588,274千円(前年同期比25.9%減)、四半期純利益は398,973千円(前年同期比27.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 不整脈事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、医療機関において待機的な治療など緊急性が低い治療については可能な限り延期したことや患者の受診自粛などにより症例数が減少したことから、当第3四半期累計期間の売上高は26,246,646千円(前年同期比10.0%減)、セグメント利益は2,853,966千円(前年同期比10.4%減)となりました。

#### ② 虚血事業

新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関における症例数が減少したことに加え、感染拡大防止のため総代理店として取り扱っている商品については、医療機関への訪問など営業活動を自粛したことから、当第3四半期累計期間の売上高は2,357,775千円(前年同期比20.1%減)、セグメント利益は505,919千円(前年同期比19.6%減)となりました。

#### ③ その他

外科、脳外科関連商品等が好調に推移したことから、当第3四半期累計期間の売上高は1,882,093千円(前年同期比34.4%増)、セグメント利益は233,620千円(前年同期比13.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ349,417千円増加し、19,181,099千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が244,940千円、商品が199,125千円減少しましたが、現金及び預金が414,061千円、電子記録債権が421,908千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ126,395千円減少し、1,409,110千円となりました。これは主に、差入保証金が51,086千円、繰延税金資産が47,000千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ223,022千円増加し、20,590,209千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ19,861千円増加し、12,393,820千円となりました。これは主に、買掛金は202,088千円増加しましたが、賞与引当金が112,695千円、未払法人税等が89,000千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ22,800千円増加し、449,479千円となりました。これは主に、退職給付引当金が32,669千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ42,661千円増加し、12,843,299千円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ180,360千円増加し、7,746,909千円となりました。これは主に、四半期純利益により398,973千円増加したものの、剰余金の配当により246,656千円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は37.6%(前事業年度末は37.1%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきまして、売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、症例数は2020年4月の緊急事態宣言後減少したものの、2020年6月以降は回復傾向にありました。しかし、昨年末から感染者数急増の影響により再度の緊急事態宣言により再び減少傾向となっており、関東圏を中心に計画を下回る見通しです。

利益面につきましては、営業活動等を制限したことによる旅費交通費の削減や経費節減努力のほか、研究開発費など一部の販売費及び一般管理費の経費予算の執行遅れが見込まれることから、前回公表の予想値を上回る見通しとなりました。

以上のことから、2020年6月15日に公表した2021年3月期の業績予想を修正いたしました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,232,708	5,646,770
受取手形及び売掛金	9,932,252	9,687,312
電子記録債権	1,558,159	1,980,068
商品	1,793,332	1,594,206
その他	316,628	273,441
貸倒引当金	△1,400	△700
流動資産合計	18,831,681	19,181,099
固定資産		
有形固定資産	915,695	916,654
無形固定資産	24,381	11,051
投資その他の資産		
差入保証金	253,502	202,416
繰延税金資産	300,900	253,900
その他	43,242	25,088
貸倒引当金	△2,216	-
投資その他の資産合計	595,428	481,404
固定資産合計	1,535,505	1,409,110
資産合計	20,367,187	20,590,209
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,588,271	11,790,359
1年内返済予定の長期借入金	29,527	4,177
未払法人税等	99,000	10,000
賞与引当金	246,630	133,934
売上値引引当金	-	56,728
その他	410,530	398,620
流動負債合計	12,373,959	12,393,820
固定負債		
長期借入金	1,678	-
退職給付引当金	354,195	386,865
役員退職慰労引当金	68,577	-
その他	2,228	62,613
固定負債合計	426,678	449,479
負債合計	12,800,638	12,843,299
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	7,958,713	8,106,982
自己株式	△1,056,197	△1,029,556
株主資本合計	7,561,704	7,736,614
新株予約権	4,845	10,295
純資産合計	7,566,549	7,746,909
負債純資産合計	20,367,187	20,590,209

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	33,505,340	30,486,515
売上原価	29,486,806	26,893,008
売上総利益	4,018,533	3,593,506
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	200	△700
給料及び手当	1,113,335	1,157,188
賞与引当金繰入額	119,943	133,934
役員退職慰労引当金繰入額	5,591	2,042
退職給付費用	44,871	48,519
その他	1,947,858	1,662,306
販売費及び一般管理費合計	3,231,799	3,003,292
営業利益	786,733	590,214
営業外収益		
受取利息	264	110
受取保険金	7,368	-
貸倒引当金戻入額	-	279
為替差益	917	-
その他	1,428	1,688
営業外収益合計	9,979	2,078
営業外費用		
支払利息	176	46
為替差損	-	3,972
貸倒引当金繰入額	2,216	-
営業外費用合計	2,393	4,018
経常利益	794,319	588,274
特別利益		
固定資産売却益	648	-
投資有価証券売却益	959	-
特別利益合計	1,607	-
特別損失		
固定資産除却損	1,455	1,203
特別損失合計	1,455	1,203
税引前四半期純利益	794,472	587,070
法人税、住民税及び事業税	244,009	141,097
法人税等調整額	2,989	47,000
法人税等合計	246,999	188,097
四半期純利益	547,472	398,973

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。